

情報電子工学科 論文発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員および研究員、※は大学院生、卒研究生または卒業生

題名	Temporal Variations of Air Dose Rates in East Fukushima during Japanese Fiscal Years 2012&2013
掲載雑誌	Health Physics
著者	<u>K. Akimoto</u>
概要	福島県東部における2012および2013年度の空間線量率の経時変化を分析した。研究の結果、全体的には、福島県東部でも線量率が減少傾向を見せていることが判明したが、同時に、空間線量率の様々な異常性を発見した。例えば、線量率がピークを形成したり、振動する現象を指摘した。